



監修

佐佐木信綱  
辻善之助  
藤村  
出津田左右吉  
作和辻哲郎

# 日本書紀

二

武田祐吉校註

朝日新聞社刊  
日本古典全書

日本古典全書第五十三回配本

「日本書紀」二 武田祐吉校註

昭和二十八年六月二十日初版發行

印刷所 圖書印刷株式會社

發行所 朝日新聞社（東京都千代

田區有樂町・大阪市北區中之

島・小倉市砂津）

定價 二五〇圓

# 目次

## 凡例

### 日本書紀卷の第三

#### 神武天皇（神日本磐余彦の天皇）

〔一〕 東征の計畫（紀元前七年）	七
〔二〕 北九州（同年）	八
〔三〕 安藝の國に入る（同年）	九
〔四〕 吉備の國に入る（紀元前六年）	一〇
〔五〕 難波に至る（紀元前三年）	一一
〔六〕 草香の津に至る（同年）	一二
〔七〕 孔舍衛の戰（同年）	一三
〔八〕 五瀬の命薨ず（同年）	一四
〔九〕 熊野・菟田（同年）	一五

書き下し文・原文

七

三

日本書紀(二)

[一〇]	菟田の高城・吉野(同年)	.....	六	〇
[一一]	丹生の川上の祭(同年)	.....	三	〇
[一二]	忍坂の大室屋(同年)	.....	三	〇
[一三]	兄磯城(同年)	.....	三	〇
[一四]	長髓彦(同年)	.....	三	〇
[一五]	饒速日の命(同年)	.....	三	〇
[一六]	大和の國內の平定(紀元前二年)	.....	七	〇
[一七]	橿原の宮(同年)	.....	七	〇
[一八]	正妃を立つ(紀元前一年)	.....	〇	〇
[一九]	即位(元年)	.....	四	一
[二〇]	行賞(二年)	.....	四	一
[二一]	神を祭る(四年)	.....	四	一
[二二]	秋津洲の號(三十一年)	.....	四	一
[二三]	皇太子を立つ(四十二年)	.....	四	一
[二四]	天皇崩ず(七十六年)	.....	四	一

日本書紀卷の第四

綏靖天皇(神渟名川耳の天皇)..... 七

[一]	系譜・性行(即位前)	.....	七	〇
[二]	手研耳の命(同)	.....	七	〇

〔三〕 即位（元年）…………… 五〇

〔四〕 皇后を立つ（二年）…………… 五〇

〔五〕 神八井耳の命薨す（四年）…………… 五一

〔六〕 皇太子を立つ（二十五年）…………… 五一

〔七〕 天皇崩す（三十三年）…………… 五一

安寧天皇（磯城津彥玉手看の天皇）…………… 五二

〔一〕 系譜（即位前）…………… 五二

〔二〕 先帝の山陵（元年）…………… 五二

〔三〕 遷都（二年）…………… 五三

〔四〕 皇后を立つ（三年）…………… 五三

〔五〕 皇太子を立つ（十一年）…………… 五三

〔六〕 天皇崩す（三十八年）…………… 五三

懿德天皇（大日本彥耜友の天皇）…………… 五三

〔一〕 系譜（即位前）…………… 五三

〔二〕 即位（元年）…………… 五三

〔三〕 遷都・皇后を立つ（二年）…………… 五三

〔四〕 皇太子を立つ（二十二年）…………… 五三

〔五〕 天皇崩す（三十四年）…………… 五三

孝昭天皇(觀松彥香殖稻の天皇)..... 珉

〔一〕 系譜(即位前)..... 珉

〔二〕 即位(元年)..... 珉

〔三〕 皇后を立つ(二十九年)..... 珉

〔四〕 皇太子を立つ(六十八年)..... 珉

〔五〕 天皇崩ず(八十三年)..... 珉

孝安天皇(日本足彥國押人の天皇)..... 珉

〔一〕 系譜(即位前)..... 珉

〔二〕 即位(元年)..... 珉

〔三〕 遷都(二年)..... 珉

〔四〕 皇后を立つ(二十六年)..... 珉

〔五〕 先帝の山陵(三十八年)..... 珉

〔六〕 皇太子を立つ(七十六年)..... 珉

〔七〕 天皇崩ず(百二年)..... 珉

孝靈天皇(大日本根子彥太瓊の天皇)..... 珉

〔一〕 系譜(即位前)..... 珉

〔二〕 即位(元年)..... 珉

〔三〕 皇后を立つ(二年)..... 珉

〔四〕 皇太子を立つ（三十六年）	齒	齒
〔五〕 天皇崩ず（七十六年）	齒	齒
孝元天皇（大日本根子彥國牽の天皇）	齒	齒

〔一〕 系譜（即位前）	齒	齒
〔二〕 即位（元年）	齒	齒
〔三〕 遷都（四年）	齒	齒
〔四〕 先帝の山陵（六年）	齒	齒
〔五〕 皇后を立つ（七年）	齒	齒
〔六〕 皇太子を立つ（二十二年）	齒	齒
〔七〕 天皇崩ず（五十七年）	齒	齒

開化天皇（稚日本根子彥大日々の天皇）

〔一〕 系譜（即位前）	齒	齒
〔二〕 遷都（同）	齒	齒
〔三〕 先帝の山陵（五年）	齒	齒
〔四〕 皇后を立つ（六年）	齒	齒
〔五〕 皇太子を立つ（二十八年）	齒	齒
〔六〕 天皇崩ず（六十年）	齒	齒

日本書紀卷の第五



崇神天皇(御間城入彦五十瓊殖の天皇)

〔一〕	系譜・性行(即位前)	七	七
〔二〕	即位(元年)	七	七
〔三〕	皇后を立つ(同年)	七	七
〔四〕	遷都(三年)	七	七
〔五〕	詔を下す(四年)	七	七
〔六〕	國內に疾病多し(五年)	七	七
〔七〕	神祇を祭る(六年)	七	七
〔八〕	神の教を求む(七年)	七	七
〔九〕	大物主の神(同年)	七	七
〔一〇〕	三輪の神宴(八年)	七	七
〔一一〕	墨坂大坂の神(九年)	七	七
〔一二〕	遠境平定の詔(十年)	七	七
〔一三〕	四道將軍を遣す(同年)	七	七
〔一四〕	三諸山の神(同年)	七	七
〔一五〕	將軍出發に關する詔(同年)	七	七
〔一六〕	將軍出發(同年)	七	七
〔一七〕	調役に關する詔(十二年)	七	七
〔一八〕	調役を科す(同年)	七	七
〔一九〕	船舶を作る(十七年)	七	七

〔一〇〕	皇太子を立つ(四十八年)	九〇	九一
〔一一〕	出雲振根(六十年)	九一	九三
〔一二〕	池を掘る(六十二年)	九四	九五
〔一三〕	任那貢す(六十五年)	九五	九七
〔一四〕	天皇崩す(六十八年)	九五	九六

日本書紀卷の第六

垂仁天皇(活目入彦五十狹茅の天皇)……………九七

〔一〕	系譜・性行(即位前)	九七	九七
〔二〕	即位(元年)	九八	九八
〔三〕	皇后を立つ(二年)	九八	九八
〔四〕	任那と新羅(同年)	九八	九八
〔五〕	任那の國號(同年別傳)	九八	一〇一
〔六〕	比賣語曾の社の神(同年別傳)	一〇三	一〇三
〔七〕	天の日槍の一(三年)	一〇三	一〇四
〔八〕	天の日槍の二(同年別傳)	一〇四	一〇五
〔九〕	狹穗彦の王の一(四年)	一〇六	一〇七
〔一〇〕	狹穗彦の王の二(五年)	一〇七	一〇
〔一一〕	當摩の蹶速(七年)	一一	一一
〔一二〕	丹波の五人の姫の一(十五年)	一一三	一一三

〔一三〕	丹波の五人の姫の二(同年)	二二三	二四
〔一四〕	譽津別の王の一(二十三年)	二二四	二五
〔一五〕	譽津別の王の二(同年)	二二五	二五
〔一六〕	譽津別の王の三(同年)	二二六	二六
〔一七〕	神祇祭祀の詔(二十五年)	二二六	二七
〔一八〕	伊勢の神宮鎮坐(同年)	二二七	二八
〔一九〕	倭の大神(同年別傳)	二二八	二九
〔二〇〕	出雲の神寶(二十六年)	二二〇	二〇
〔二一〕	兵器をもつて神を祭る(二十七年)	二二〇	二一
〔二二〕	倭彦の命薨ず(二十八年)	二二一	二二
〔二三〕	皇嗣を定む(三十年)	二二三	二三
〔二四〕	皇后崩ず・埴輪を立つ(三十二年)	二二三	二四
〔二五〕	山背の綺戸邊(三十四年)	二二五	二五
〔二六〕	池を掘る(三十五年)	二二六	二六
〔二七〕	皇太子を立つ(三十七年)	二二六	二六
〔二八〕	石上の神寶の一(三十九年)	二二七	二七
〔二九〕	石上の神寶の二(三十九年別傳)	二二七	二八
〔三〇〕	石上の神寶の三(八十七年)	二二八	二九
〔三一〕	出石の神寶(八十八年)	二二九	三〇
〔三二〕	田道間守を常世の國に遣す(九十年)	二二三	三一

〔三三〕	天皇崩ず（九十九年）	二三
〔三四〕	田道間守歸國す（崩後）	二三

日本書紀卷の第七

景行天皇（大足彥忍代別の天皇）	二五
-----------------	----

〔一〕	系譜（即位前）	二五
〔二〕	即位（元年）	二五
〔三〕	皇后を立つ（二年）	二六
〔四〕	紀伊の國の神を祭る（三年）	二七
〔五〕	諸妃（四年）	二七
〔六〕	遷都（同年）	二四
〔七〕	周芳の神夏磯媛（十二年）	二四
〔八〕	鼠の石室の土蜘蛛（同年）	二四
〔九〕	熊襲の梟帥（同年）	二四
〔一〇〕	高屋の宮（十三年）	二四
〔一一〕	思邦の歌（十七年）	二四
〔一二〕	筑紫の國を巡幸す（十八年）	二五
〔一三〕	葦北の水島（同年）	二五
〔一四〕	火の國の號（同年）	二五
〔一五〕	阿蘇の神（同年）	二五

- [二六] 御木のさを橋(同年)……………一五
- [二七] 的の邑(同年)……………一五
- [二八] 還 幸(十九年)……………一五
- [二九] 天照らす大神を祭る皇女(二十年)……………一五
- [三〇] 武内宿禰を北陸・東國に遣す(二十五年)……………一五
- [三一] 武内宿禰歸る(二十七年)……………一五
- [三二] 日本武の尊、熊襲を討つ(同年)……………一五
- [三三] 熊襲の梟帥を殺す(同年)……………一五
- [三四] 日本武の尊歸る(二十八年)……………一六
- [三五] 日本武の尊の東征(四十年)……………一六
- [三六] 日本武の尊、伊勢に至る(同年)……………一六
- [三七] 日本武の尊、陸奥に至る(同年)……………一六
- [三八] 日本武の尊、信濃を越ゆ(同年)……………一六
- [三九] 日本武の尊薨す(同年)……………一七
- [四〇] 群卿を宴す(五十一年)……………一七
- [四一] 皇太子を立つ(同年)……………一七
- [四二] 五國の佐伯部・日本武の尊の系譜(同年)……………一七
- [四三] 八坂入媛の命を皇后とす(五十二年)……………一七
- [四四] 東海に幸す(五十三年)……………一七
- [四五] 磐鹿六雁(同年)……………一七

〔五〕 遷幸（五十四年）	一八〇
〔六〕 彦狭島の王（五十五年）	一八〇
〔七〕 御諸別の王を東國に封ず（五十六年）	一八〇
〔八〕 池を掘り屯倉を定む（五十七年）	一八一
〔九〕 高穴穗の宮（五十八年）	一八三
〔一〇〕 天皇崩ず（六十年）	一八三

成務天皇（稚足彦の天皇）……………一八三

〔一〕 系譜（即位前）	一八三
〔二〕 即位（元年）	一八三
〔三〕 先帝の山陵（二年）	一八三
〔四〕 武内宿禰を大臣とす（三年）	一八四
〔五〕 國郡縣邑の長を立つる詔（四年）	一八四
〔六〕 國郡縣邑を定む（五年）	一八五
〔七〕 皇太子を立つ（四十八年）	一八五
〔八〕 天皇崩ず（六十年）	一八六

日本書紀卷の第八

仲哀天皇（足仲彦の天皇）……………一八七
----------------------

〔一〕 系譜（即位前）……………一八七
---------------------

〔三〕 即位(元年).....	一八	一八
〔三〕 白鳥の詔(同年).....	一八	一八
〔四〕 越の國、白鳥を貢す(同).....	一八	一八
〔五〕 皇后を立つ(二年).....	一九	一九
〔六〕 筥飯の宮(同年).....	一九	一九
〔七〕 南方に幸す(同年).....	一九	一九
〔八〕 豊浦の津の魚(同年).....	一九	一九
〔九〕 穴門の豊浦の宮(同年).....	一九	一九
〔一〇〕 筑紫に幸す(八年).....	一九	一九
〔一一〕 皇后に神がかりす(同年).....	一九	一九
〔一二〕 天皇崩ず(九年).....	一九	一九

日本書紀卷の第九

神功皇后(氣長足姫の尊).....	二〇	二〇
-------------------	----	----

〔一〕 系・譜(攝政前).....	二〇	二〇
〔二〕 神を祭る(同).....	二〇	二〇
〔三〕 松浦の縣(同).....	二〇	二〇
〔四〕 渡海の準備(同).....	二〇	二〇
〔五〕 新羅に至るの一(同).....	二〇	二〇
〔六〕 新羅に至るの二(同、別傳).....	二〇	二〇

〔七〕	新羅に至るの三(同、別傳)……………	二六	二七
〔八〕	住吉神社の鎮坐(同)……………	二八	二八
〔九〕	麿坂の王と忍熊の王(同)……………	二八	三三
〔一〇〕	忍熊の王の死(同)……………	三三	三五
〔一一〕	皇太后と曰す(攝政元年)……………	三七	三七
〔一二〕	先帝の山陵(二年)……………	三七	三七
〔一三〕	皇太子を立つ(三年)……………	三七	三七
〔一四〕	新羅の貢(五年)……………	三六	三六
〔一五〕	酒の歌(十三年)……………	三九	三〇
〔一六〕	倭の女王の使、魏都に至る(三十九年)……………	三三	三三
〔一七〕	魏使、倭の國に至る(四十年)……………	三三	三三
〔一八〕	倭の王の使、魏に至る(四十三年)……………	三三	三三
〔一九〕	斯摩宿禰、卓淳の國に至る(四十六年)……………	三三	三三
〔二〇〕	百濟の使至る(四十七年)……………	三四	三五
〔二一〕	百濟を討つ(四十九年)……………	三六	三七
〔二二〕	百濟の使至る(五十年)……………	三六	三九
〔二三〕	百濟の使至る(五十一年)……………	三九	四〇
〔二四〕	百濟貢す(五十二年)……………	四〇	四一
〔二五〕	百濟の肖古王薨す(五十五年)……………	四三	四三
〔二六〕	百濟の王子貴須立つ(五十六年)……………	四三	四二



〔二七〕 新羅を討つの一(六十二年)……………	二四二	二四二
〔二八〕 新羅を討つの二(六十二年百濟記)……………	二四二	二四三
〔二九〕 新羅を討つの三(六十二年別傳)……………	二四三	二四三
〔三〇〕 百濟の貴須王薨ず(六十四年)……………	二四四	二四四
〔三一〕 百濟の枕流王薨ず(六十五年)……………	二四四	二四四
〔三二〕 倭の女王の使、晋に至る(六十六年)……………	二四四	二四五
〔三三〕 皇太后崩ず(六十九年)……………	二四五	二四五